

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	48
2. 大学等名	新潟大学
3. テーマ	IV. 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）
4. 取組学部等名	全学 [人文学部, 教育学部, 法学部, 経済学部, 理学部, 医学部, 歯学部, 工学部, 農学部, 創生学部]
5. 事業期間	平成27年度～令和元年度（5年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（400文字）
<p>激変する社会に耐えうる主体的学修者を育成するための転換教育体制を構築するために、本事業を活用して初年次教育改革と学事暦改革を実施する。能動的学修を集中的に実施できる期間として設定する第2クォーター（6週間）において、初年次では長期学外学修科目を含むインテンシブな能動的学修科目の履修を必修化する。長期学外学修科目としては、「ダブルホーム」活動などの新潟大学独自の資産をもとに、学生の主体性や学修への動機づけを高める多様なプログラム群を授業科目（8単位）として開発・設計し、初年次学生の約3割が履修する制度を構築する。それにより、質的・量的に良質な学修を積んだ学生を育成するとともに教職員の学修設計・支援に対する意識転換を促進し、主体的な学修を中心としたカリキュラムへの質的転換を加速する。本事業により構築された体制は、学長のリーダーシップに基づく戦略的な資源配分により補助期間終了後も発展的に継続する。</p>	